

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群 世界文化遺産推薦候補に選定



くす玉を割って推薦決定を祝う左から森副町長、アプタフレナイの会神馬会長、遠藤教育長

洞 爺湖町の入江・高砂貝塚を含む17の遺跡で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」が平成30年度のユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選定されました。7月19日に国の文化審議会世界文化遺産部会で決定。

平成25年から毎年推薦書案を国に提出していましたが、選考されず、6回目の挑戦で推薦候補に選ばれました。7月19日には、選定の知らせを受けて役場でセレモニーが行われ、森寿浩副町長と遠藤秀男教育長、アプタフレナイの会神馬久夫会長がくす玉を割り、祝いました。

森副町長は「着実な準備と気運醸成の取り組みが実を結びました。今後は、関係自治体と連携しながら、登録実現に向けて全力で取り組みま

す」と真屋町長のコメントを代読しました。

神馬会長は「地道な活動が少しでも力になれて喜ばしいです。これから登録に向けて、自分たちができることで、盛り上げていきたいと思います」と話しました。

世界文化遺産登録までの流れ

- 国が文化遺産・自然遺産のいずれかを国内候補に選定
- 2019年2月1日までに国からユネスコ世界遺産センターへ推薦書を提出
- 2019年9月ごろ国際記念物遺跡会議 (ICOMOS) による現地調査
- 2020年5月ごろ国際記念物遺跡会議 (ICOMOS) による評価結果の勧告
- 2020年夏ごろユネスコ世界遺産委員会で審議・登録

入江・高砂貝塚に行ってみよう！

入江・高砂貝塚とは？

噴火湾を臨む高台にあり、縄文時代前期から晩期につくられた貝塚を伴う集落跡。入江貝塚では、竪穴住居跡も数多く見つかっています。貝塚からは計44基の墓が発見されていて、縄文人が貝塚を埋葬用の特別な場所として利用していたことがわかります。



入江・高砂貝塚館

主に入江・高砂貝塚から出土した遺物約200点を展示しています。

- 時間 9時～17時
- 場所 高砂町44
- 入館料 大人150円、小中高生100円 (町民無料)
- 休館日 月曜日、祝日の翌日
- 問合せ 入江・高砂貝塚館 (☎76-5802) 教育委員会社会教育課 (☎74-3010)